

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	量子・物質工学特別演習第一		
英文授業科目名	Advanced Studies in Applied Physics and Chemistry 1		
開講年度	2009年度	開講年次	
開講学期	通年	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	演習	単位数	4
科目区分	電気通信学研究科-量子・物質工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学専攻		
担当教官名	各指導教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
各指導教員の指導を受けながら演習・リサーチ・発表・討論を行い、第一線の研究者・技術者に必要な幅広い専門的知識と研究に対する総合的な考察能力を獲得することを主眼とする。また各自の研究結果について様々な形で発表・討論を重ね、さらなる研究の進展を図る。あわせて発表・討論能力を磨くことも目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
各指導教員の指定による

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
各指導教員の指定による

【教科書等】
各指導教員の指定による

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

各所属研究室や研究グループにおいて、各自の研究成果の検討、関連する研究報告のリーサーチ内容の検討、研究テーマに関連する問題演習等を行う。その実施方法については各指導教員より指示される。

また本専攻では、量子・物質工学特別演習第一の一部として、1年次学生には、「特別セミナー」が、2年次学生には「量子・物質工学特別実験第一の進捗状況の発表」が課せられる。

「特別セミナー」は、各学生が専門に関連した分野のレビュー等を専攻内の学生に対して行うもので、専門能力の深化とともに幅広い素養を修得するためのものである。

「量子・物質工学特別実験第一の進捗状況の発表」は、発表及び質疑応答を通じて、より完成度の高い修士論文作成を目指すものである。

「特別セミナー」と「量子・物質工学特別実験第一の進捗状況の発表」の実施方法等については、ガイダンス及び掲示により指示される。

なお本科目は1年次から修了年次にわたって履修すべき必修科目である。

意義のある討論を行うには研究分野の背景の理解が必要である。また、事前に十分に準備すること（口頭発表の練習を行うことなど）が要求される。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

発表等の内容、理解度、質問、討論を通じた当該学生の達成度を勘案して評価する。十分な達成度に対して合格を与える。

【オフィスアワー：授業相談】

各指導教員の指定による

【学生へのメッセージ】

研究者・技術者としての将来の基礎をつくる科目の1つである。全力で取り組むことを望む。

【その他】

特になし